

2007年度
(平成19年度)

事業報告書

社団法人日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
TEL 03-5424-1121 FAX 03-5424-1126

目次

2007年度事業報告	1
[公益会計事業]	
(1) 一般会計事業	
1 「平和の文化」実践活動	3
2 ユネスコ・世界寺子屋運動事業	12
3 世界遺産・地域遺産活動事業	14
4 普及・広報活動事業	15
(2) 特別会計事業	16
[収益会計事業]	17
組織	18
会議	22

2007 年度事業報告

2007 年は民間ユネスコ運動発祥 60 周年を迎え、「民間ユネスコ運動 60 年史」の発行、民間ユネスコ運動を象徴するロゴマークの作成、および 2007 年度を初年度とする「民間ユネスコ運動運動方針」を策定した。

ユネスコ運動の中心的目標が「平和の文化」構築にあることを確認し、その重要性に鑑み改めて、平和のための全国統一運動を中心に運動の輪を広げていくとともに、青少年が参加する活動の積極的な振興と青年リーダーの育成に努めた。

1. 「平和の文化」実践活動

「つなげよう平和の心」を合言葉に、ユネスコ活動の輪を広げ「民間ユネスコ運動の日」、「平和の鐘（かね・おと）を鳴らす運動」など全国的に催す各種の行事を「平和の文化」を築く重要な活動と位置づけ、その発展を図った。

国内活動

「民間ユネスコ運動の日」、「平和の鐘（かね・おと）を鳴らす運動」、「平和の鳥 de 募金」などの全国的な統一運動を推進する一方、各地域の自主的な活動を支援した。全国大会、ブロック別ユネスコ活動研究会、ユネスコ・ユースセミナーなど、会員が集まる機会を「平和の文化」の構築に向けて研鑽を深め、広く周知する場とした。また、ユネスコ協会相互および関係諸団体との交流を促進した。

海外活動

世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟(WFUCA)およびアジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)などとの連携を通じて、海外のユネスコ活動との連携の輪を広げた。

2. ユネスコ・世界寺子屋運動の発展

2007 年度は、ラオスで世界寺子屋運動を新規展開する準備作業を進めた。発展途上国での支援をさらに充実させるとともに、カンボジアをはじめスタディツアーを実施し、寺子屋で学ぶ人たちと国内の支援者との交流を広げ、「ともに学び、ともに生きる」世界の構築に貢献した。

国内活動

世界寺子屋運動の裾野を拡大しかつ理解を深めるため、書きそんじハガキ回収キャンペーン、寺子屋学習・報告会、現地へのスタディツアー、「ユネスコ運動 D-Project 『世界寺子屋運動』小・中・高学びのプログラム」くるりんぱワークショップを積極的に展開した。

海外活動

カンボジアを支援重点国とし、アフガニスタン、インド、ネパールでの事業を継続した。また、新たにラオスにおける新規支援開始に向け現地調査を実施した。アフガニスタンとネパールの無料診療所に対し「一杯のスプーン」による医薬品・食糧支援を継続実施した。

3. 世界遺産・地域遺産活動の発展

国内外において世界遺産だけでなく、身近な環境や文化、歴史などを大切にすることを育む活動を行った。また、郷土の身近な遺産にもかけがえの無い価値がある。自分たちの住む街や、生きる場所を大切にしようとしている日本の地域遺産種加について、情報収集を行った。

国内活動

地域の身近な文化や自然を守る意識を高めるための活動として「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展を実施した。また、地域の自然や有形・無形の文化を守る事業について各地ユネスコ協会がどのような活動を展開しているかについてアンケート調査を行い、情報収集を行った。国内の周知・普及活動として、「世界遺産年報」の発刊、危機遺産写真展の開催、ホームページでの情報提供を行った。

海外活動

国外の世界遺産の保護・保全を目的として、アフガニスタン、フィリピンおよびネパールで支援事業を実施した。また、カンボジアにおいて遺産保護活動を通して当該国地域住民の理解の促進を図るため、新たな教育活動展開のための協議を当該国関係団体と行った。

4. 60周年関連事業の推進

2007年度に行われた当協会連盟、ならびに各地ユネスコ協会の事業を「民間ユネスコ運動発祥60周年記念事業」と位置づけて実施し、「民間ユネスコ運動60年史」の発行、「日本ユネスコ協会連盟」新ロゴマークの作成、民間ユネスコ運動推進員研修、ユネスコ運動ボランティアなどの新しい事業を展開した。

5. 事業資金開拓の強化

日本経済も景気回復が継続する中、安定的な募金・寄付金確保のに向けた対策を行った。

企業向けパンフレットの作成

企業との連携事業を拡大するため「企業向けパンフレット」を作成した。

遺贈パンフレットの作成

近年増加傾向にある遺贈について、「遺贈パンフレット」を作成し全国の弁護士事務所及び信託銀行へ配布した。

自動引き落とし募金

自動引き落とし募金の協力者がさらに拡大し、募金の安定性に寄与した。

〔公益会計事業〕

(1) 一般会計事業

1. 「平和の文化」実践活動

1) 全国広報活動

「民間ユネスコ運動の日」

世界にさきがけ民間ユネスコ運動が発足したことを記念した「民間ユネスコ運動の日」(7月19日)および7月14日(土)~16日(月・祝)を中心に、全国96のユネスコ協会が世界の平和を希求する全国一斉行動を行った。当協会連盟は、「民間ユネスコ運動の日」のための資料やグッズを提供するとともに、2007年2月のユネスコ・ユースセミナーで青年が組織した実行委員会が企画・実施する活動に対して支援を行った。また、全国一斉に取り組む具体的な活動を整備し、マスコミ等を通じて広報した。

「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」キャンペーン

2000年の平和の文化国際年に開始し、2001年に始まった「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の国際10年」の主要事業として実施。特に子どもたちを対象に、平和について改めて考えるきっかけとなるよう、希望のあった全国67のユネスコ協会に活動ツールを提供し、事業を実施した。

「平和の鳥 de 募金」

2007年2月に開催された「ユネスコ・ユースセミナー」をきっかけに、ユネスコ協会の青年会員が中心となって立ち上げた事業。民間ユネスコ運動一斉活動の7月16日に、全国8ヶ所の街頭で、「世界寺子屋運動」への協力を呼びかけ、合計で265,415円の募金が集まった。

民間ユネスコ運動発祥60周年記念第63回日本ユネスコ運動全国大会 in 山口

全国の会員が集い、「みんなちがってみんないい 今こそめざそう 多文化共生」をテーマとして、山口県が生んだ童謡詩人金子みすゞの寛容と共生の心を学び、世界平和構築のために、異なる民族・宗教・文化を相互に認め合う多文化共生社会の実現に向けて、60周年を迎えた民間ユネスコ運動のさらなる発展を目指した。

また、本大会の開催にあわせ、AFUCA執行委員会を開き、民間ユネスコ運動発祥60周年を迎えたことの意義を確認し、アジア地域のユネスコクラブ会員との相互理解を深めた。

主 催 (社)日本ユネスコ協会連盟、山口県ユネスコ協会連盟、山口ユネスコ協会

後 援 外務省、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国際連合広報センター -
山口県、山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会ほか

期 日 2007年9月1日(土)~2日(日)

開催地 山口市・湯田温泉

特別講演 松浦晃一郎(UNESCO事務局長)

「民間ユネスコ運動発祥60周年によせて」

基調講演 矢崎節夫(児童文学作家・金子みすゞ記念館館長)

「金子みすゞ こころの宇宙」

- シンポジウム テーマ「多文化共生社会の実現とユネスコ活動」
 コーディネーター 青柳正規（国立西洋美術館長）
 パネリスト 幸田シャーミン（国際連合広報センター所長）
 服部英二（UNESCO 事務局長官房・特別参与）
 松田昌士（日本ユネスコ協会連盟会長）
- 分科会 第1分科会 世代をつなぐユネスコ活動
 第2分科会 地域に広げる世界寺子屋運動
 第3分科会 「ずっと地球と生きる」ための活動
 第4分科会 世界遺産の心につながる地域遺産 / 大内文化に学ぶ
- 参加者数 865名

ブロック別ユネスコ活動研究会

ユネスコ活動振興のため、各地ユネスコ協会を対象とした研究会を、全国9ブロックで下記のとおり開催した。開会中、「民間ユネスコ運動 運動方針」の具体化を検討するとともに、コースセミナー参加者による発表、および当協会連盟が行う事業の紹介等を行った。

<北海道ブロック>

- 期日 2007年10月7日(日)～8日(月)
 担当協会 北海道ユネスコ連絡協議会 苫小牧ユネスコ協会
 開催地 北海道苫小牧市
 テーマ ユネスコの原点「平和の心」を強く訴えよう - 地域に“平和の文化”の実践活動を広めよう -
 内容 ユネスコ運動が還暦を迎えた今、運動の原点である「平和の希求」、そして「多様な文化を相互に認め合う文明間の対話を促進していくことの重要性」を基調講演や分科会を通じて学んだ。
 基調講演 「民間ユネスコ発祥から60年を迎えて」
 講師 尾花珠樹（ユネスコ活動研究家、元日ユ協連事務局長）
 特別講演 「動物学者から見た人間の歴史」
 講師 石城謙吉（北海道大学名誉教授）
 分科会 「地域・世界遺産活動」「青少年」「世界寺子屋運動」「地域環境保護」
 参加者数 約150名

<東北ブロック>

- 期日 2007年7月19日(日)～20日(金)
 担当協会 宮城県ユネスコ連絡協議会、(社)仙台ユネスコ連絡協議会
 開催地 宮城県仙台市
 内容 民間ユネスコ運動発祥60周年の7月19日、松田会長列席のもと60周年記念式典を併催したブロック研究会を開催した。
 基調講演 「ユネスコの生みの親、新渡戸稲造を語る」
 講師 原田明夫（元検事総長）
 シンポジウム 「つなげよう 平和の心」

コーディネーター 東島末起（盛岡ユネスコ協会会長）
パネリスト 加藤玲子（日ユ協連副会長）
千葉泉弘（日ユ協連理事）
西村幸夫（日ユ協連理事）

参加者数 約 600 名

< 関東ブロック >

期 日 2007 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）
担当協会 関東ブロックユネスコ連絡協議会、千葉県ユネスコ協会連絡協議会、
柏ユネスコ協会
開催地 千葉県柏市
テーマ つなげよう 次の世代に 平和の心・ユネスコ活動
内 容 シンポジウムおよび分科会を通して、民間ユネスコ運動 60 年の歴史を学
ぶとともに今後の活動の展開に向けた討議および提案を行った。
シンポジウム 「民間ユネスコ運動 60 年の歩みに学び、これからの活動を考える」
パネリスト 服部英二（UNESCO 事務局長官房特別参与）
米田伸次（日ユ協連理事）
加藤玲子（日ユ協連副会長）
尾花珠樹（ユネスコ活動研究家、元日ユ協連事務局長）
分科会 「地域遺産活動」「青少年ユネスコ活動」「世界寺子屋運動」「これから力
をいれるべき活動」「ユネスコ活動の普及と組織の拡大」
参加者数 約 400 名

< 中部東ブロック >

期日 2007 年 9 月 8 日（土）～9 日（日）
担当協会 中部東ブロック・ユネスコ連絡協議会 静岡県ユネスコ連絡協議会
清水ユネスコ協会
開催地 静岡県静岡市
テーマ つなげよう未来へ 地球環境と地域遺産 - 明日のこどもたちのために
今、私たちにできる事 -
内容 環境破壊によって失われてしまう地域の文化や遺産について取り上げ、地
域に根ざした活動のあり方について、改めて見直した。翌日は、忍野ユ協、
上田ユ協、清水ユ協の活動事例発表、討議を通して研修を行った。
基調講演 「農と地球環境」
講師 佐藤洋一郎（総合地球環境学研究所研究部プログラム主幹・教授）
特別講演 「ホクレア号の大航海が教えてくれるアロハ・スピリット」
講師 琢磨仁、琢磨啓子（アースデイ湘南実行委員）
参加者数 約 300 名

< 中部西ブロック >

期日 2007 年 11 月 23 日（祝）～ 24 日（土）
担当協会 石川県ユネスコ協会、石川県白山ユネスコクラブ

開催地 石川県金沢市
 テーマ 広げようユネスコの輪 - 若い力との連携 -
 内容 ユネスコ活動への参加動機を参加者が語り合い、共有し、世代間の違いを認識して理解を深めた。また対等のパートナーシップを構築しようとチャレンジした研究会であった。
 記念講演 「子どもたちの未来に何を残すのか 宇宙から考えた地球環境」
 講師 秋山豊寛(宇宙飛行士)
 研究会 活動発表
 「青年部の活動」 川畑松晴(石川県ユ協理事)
 「学校と地域とのつながり」 吉田治子(石川県ユ協理事)
 石崎恭子(白山ユネスコクラブ事務局長)
 「金沢市立扇台小学校の活動」 構厚輝、化生菜月、東里美、室井終真
 全体協議、ほか
 参加者数 約 100 名

<近畿ブロック>

期 日 2007年10月27日(土)~28日(日)
 担当協会 大阪ユネスコ協会
 開催地 大阪府大阪市
 テーマ 世界遺産活動を考える - 地域ユネスコ協会によるアプローチの展望 -
 内 容 新運動方針のもと世界遺産・地域遺産をどうとらえ、具体的に地域ユネスコ協会がどう活動を展開していくかが議論された。
 記念講演 「世界遺産と奈良憲章」
 講師 金関 怨(大分府立弥生文化博物館長)
 パネルディスカッション 「地域ユネスコ協会による世界遺産活動の展開」
 コーディネーター 城戸一夫(日ユ協連評議員)
 パネリスト 辻林 浩(和歌山県世界遺産センター長)
 宗田好史(京都府立大学人間環境学部環境デザイン科准教授)
 桑原昭二(姫路ユネスコ協会会長)
 分科会 「地域遺産と地域協会・学校の取り組み」「地域協会青年部の活性化に向けて」「寺子屋・Dプロジェクトと地域社会の連携」「私たちのユニークなユネスコ活動」「高校におけるユネスコ活動のあり方、地域社会との連携」
 参加者数 約 170 名

<中国ブロック>

期 日 2007年10月27日(土)~28日(日)
 担当協会 石見地区ユネスコ協会、出雲地区ユネスコ協会
 開催地 島根県出雲市
 テーマ つなげよう平和の心 - 地域に根ざしたユネスコ活動を目指して -
 内 容 世界遺産登録された「石見銀山」の登録までの経緯を聞き、地域の文化財としての世界遺産について活発な討論があった。
 基調講演 「60周年を迎えた民間ユネスコ運動」

講師 野口昇（日本ユネスコ協会連盟理事長）
分科会 「世代をつなぐユネスコ活動」「地域に広げる世界寺子屋運動」
「世界遺産と地域の文化財」
参加者数 約 100 名

<四国ブロック>

期 日 2007年11月10日（土）～11日（日）
担当協会 愛媛県ユネスコ連絡協議会、北条ユネスコ協会
開催地 愛媛県北条市
テーマ ふるさと再生「STOP！環境破壊」
内 容 豊かさを求めた結果の負の産物を考察し、子々孫々のため、社会生活の中で何をなすべきか、何が出来るかを考えた。
基調講演 「地球環境変化に伴う水環境と食糧生産の変化」
講師 大上博基（愛媛大学農学部教授）
事例報告 「ほたるの里 生育環境の整備と育成」 森田忠典（風早ホテル育成会）
「家庭排水の浄化」 松木ヒサ子（北条ユネスコ協会副会長）
参加者数 約 100 名

<九州ブロック>

期 日 2007年10月20日（土）～ 21日（日）
担当協会 大分県ユネスコ協会連盟
開催地 大分県別府市
テーマ 広がれ、心の中の平和の砦
内 容 ワークショップで自分が育てたいユネスコ活動を木に見立て、どんな木にしたいかを参加者全員で話し合い、結果を「私の半歩宣言」として発表した。
記念講演 「第6回目の人生を - 」
講師 大神のりえ（インド国際子ども村「ハッピーバリー」代表）
パネルディスカッション 「地域や民間における国際交流・国際協力」
コーディネーター 末松延嵩（大分県ユネスコ協会連盟副会長）
パネリスト 坂本休（中津江村地球財団理事長）
椿大亮（国際協力推進員（JICA九州））
安部哲也（おおいた草の根ユネスコ協会代表）
ワークショップ 「ユネスコ活動の今とこれからを共に考えよう！」
ファシリテーター 佐藤倫子（エデュケーショナル・サポート・センター理事）
活動報告 「宇佐国東の歴史と文化」永岡恵一郎（宇佐神宮・国東半島を世界遺産にする会会長）
参加者数 75 名

2) 青少年育成活動事業

ユネスコ・ユースセミナー

「新しい平和を求めて」をテーマに、青年が地域や学校でユネスコ運動を行うためのきっかけとして、世界・地域で発生している課題を解きほぐし、解決策を考えることを目標として実施した。分科会ではディスカッションやフィールドワークから、課題への関わり方を考え、参加者が地域で行う活動計画を発表した。

主催 (社)日本ユネスコ協会連盟

期日 2008年2月9日(土)～11日(月)

開催地 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)

参加者 80名

第39回ユネスコ子どもキャンプ

全国から集まった青少年が野外での集団活動を通じて、自然と共生する心や自立の精神を養うとともに、「心の中に平和のとりでを築く」というユネスコの精神を育むことを目指し行われ、「ひとつじゃない～いろんなキミと」をテーマに49名の子ども、54名の青年スタッフが参加した。奥多摩にある羽村草花丘陵へのハイキングやナイトウォーク、世界寺子屋運動の勉強、「くるりんぱ」作り、キャンプファイアー等を実施した。

主催 (社)日本ユネスコ協会連盟、東京都ユネスコ連絡協議会

後援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、東京都教育委員会ほか

開催地 東京都江東区立若洲公園キャンプ場

期日 2007年7月30日～8月2日(3泊4日)

学校との連携事業

・国連・持続可能な開発のための教育の10年(UNDESD)

【ずっと地球と生きる】学校プロジェクト

読売新聞社と共催し、5企業の協力を得て、持続可能な未来を構築するため、地域(ユネスコ協会)学校、企業、メディア(読売新聞社)をつないで、5校374人の児童に対する出前授業を行った。その様子は読売新聞の全国版(朝刊)やWEBサイトで紹介された。

実施日	テーマ	実施校	協力企業
10月3日、11日	「かけがえのない水について知ろう」	神奈川県海老名市立有鹿小学校5年生102名	TOTO(株)
10月25日、11月2日	「地球の未来と電気」	熊本県菊池市立泗水小学校5年生80名	九州電力(株)
11月13日、20日	「地球のためにできることってなんだろう」	富山県富山市立大久保小学校5年生70名	北陸電力(株)
12月6日	「地球温暖化と循環型社会」	新宿区立市谷小学校5年生86名	シャープ(株)、NPO法人気象キャスターネットワーク
1月24日、25日	「地球温暖化と循環型社会」	市川市立塩浜小学校5年生36名	日本製紙(株)

UNESCO・青年交流信託基金委託事業

UNESCOの信託基金による事業。各地ユネスコ協会が推薦する15歳以上35歳までの青年を対象に、当協会連盟支援地へのスタディツアーを実施。各地ユネスコ協会会長から推薦を受けた大学生10名がフィリピン(3月16日～3月30日)に派遣された。マニラでは日本大使館等を訪れ、また世界遺産活動支援地であるイフガオ(コルディリエーラの棚田群)では州立大学の学生らと交流し、棚田の保全についての取り組みについて学びを深めた。高校生カンボジアツアーでは、カンボジアの教育事情や地雷の被害状況を学んだり、ポルポト内戦時代の体験談を聞いたり、また地元大学生らと宿泊し、互いの理解を深めた。

高校ユネスコ活動の振興と充実

高等学校の生徒および教員と地域のユネスコ活動関係者との連携を促進し、草の根助成金などを通して、高校ユネスコ活動の振興と充実を目指した。

「日本ユネスコ協同学校(ASP)ネットワーク協議会」への協力

「持続発展教育の普及とユネスコ・スクールに関する協議会」が開催された。

内容 ユネスコ・スクール加盟校による実践事例の報告や、ユネスコ・スクールの現状と課題についての意見交換を通じて、ユネスコ・スクールの発展と持続的発展教育の普及促進を図った。日ユ協連は、新運動方針「つなげよう平和の心」を紹介し、その中でESDの普及促進に重点を置いたことや現在取り組んでいるESD関連事業について報告した。

主催 文部科学省・日本ユネスコ国内委員会 共催 日本ユネスコ協会連盟ほか

期日 2008年3月29日(土)

場所 東海大学校友会館

露木青少年活動振興事業

ユネスコ活動における青少年を対象とした野外活動の拡大を目指し、露木基金のしめくくりとして「野外活動事例集」を作成した。

大学ユネスコクラブの振興

大学ユネスコ活動について、ユネスコ・青年交流信託基金委託事業、ユースセミナーへの参加などを通して振興を行った。

ユネスコ運動ボランティア

日本ユネスコ協会連盟にて体験的に学ぶ機会を提供し、当協会連盟が行う国内外の社会貢献活動に直接携わることにより地球市民としての感性を磨き、世界平和を求める国際人を養成することを目的とした「ユネスコ運動ボランティア」研修生として、9月1日からエリーニ・ユネスコ協会の和田久実子が研修している。

3) 組織拡充活動事業

ユネスコ運動推進員研修

趣旨 ユネスコ協会の次代を担う会員を対象に、1年間の研修機会を提供し、ユネスコ

運動に関する知識を基礎から学び、地域の市民運動の推進員となり得る人材の育成を行う。

期間 2007年9月～08年6月

内容 ユネスコ運動推進員の海外研修は9 ユネスコ協会から23名の参加を得て、9月15日(土)からと9月22日(土)からの2行程で行った。東京で出発前研修(2泊3日)、カンボジア・シェムリアップ州で現地研修(4泊5日)。海外研修後は、各推進員がプロ研で研修報告を実施し、また学校での講演会に参加した。海外研修等の成果は、1月開催の評議員会にて報告された。また2月開催のユネスコ・コースセミナーにて国内研修を実施した。

ユネスコ地域草の根活動振興助成金

ユネスコ運動が地域社会に広く知られることを目的として、NTTグループ6社の協賛を得て、地域諸団体及びユネスコ協会が行なう諸活動に対して活動支援を行なった。申請件数68,助成件数64,助成総額7,822,880円

ユネスコ活動への助成

都道府県連活動促進のため助成金を交付した。また、新設ユネスコ協会設立を促進した。新設ユネスコ協会が会員として当協会連盟に加盟したときに、名入りのユネスコ旗を贈呈した。地域のユネスコ活動振興のため、旅費または謝金の一部を当協会連盟が負担して、講師・指導者の派遣・斡旋を行った。

4) 国際交流活動事業

世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟(WFUCA)の活動への協力

ギリシャ・アテネで7月11日～13日に開催された再生・WFUCAの世界大会に、野口理事長他職員1名を派遣した。本大会では新たにキプロスのジョージ・クリストフィーデス氏が会長に選出され、5大陸を代表する副会長と執行委員各5名と収入役1名が選ばれた。当協会連盟は、100以上のユネスコ協会を有し、20年以上の活動実績と年会費1口100ドルを10口以上納入していることから仏連盟、伊連盟と共にex-officioメンバーとして承認された。

日コ協連企画旅行には9名が、また青森県ユ協企画旅行18名他計30名のオブザーバーが日本から開会式に参加した。

アジア・太平洋 ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)の活動への協力

「第17回アジア連盟執行委員会」が山口市で9月2日～3日開催され、執行委員国9カ国から各国代表1名のほかオブザーバーを含めて42名が会議に参加。過去2年間の事業・決算報告と今後2年間の事業計画を協議した。なお、第18回執行委員会は2008年8月、ロシアのエカテリンブルグで開催されることになった。9月3日、4日には広島ユ協、宮島ユ協の協力を得、広島市の平和祈念資料館では館長による被爆体験の話を伺い、また厳島神社の歴史と建造物についての詳細説明をうける機会を得た。

中国蓬萊市で開催された「ポンライ・ピースフェスティバル」(8月19日～24日)では下関ユ協が地元勝山地区の「下関平家太鼓保存会勝山会」が和太鼓演奏を披露した。

三菱アジア子ども絵日記フェスタの共催

国際識字年を記念し、1990年から三菱グループの全面的な協力のもと、絵日記を通じて、相互の文化や生活に触れ、理解を深めることを目的に開催。2007年度は、第8期絵日記フェスタ（アジア21カ国1地域の子どもたちが参加）のグランプリ受賞者、ならびにタイと日本の入賞者全員を7月22日から26日まで、タイ王国に招待し、アジアスタディーツアーを実施した。スタディーツアーでは、授賞式、作品展示会、世界遺産アユタヤツアー、バンコク市内小学校訪問などが実施され、参加者は国際理解を深めた。

主催 三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)、(社)日本ユネスコ協会連盟

後援 UNESCO

東アジア子ども芸術祭

UNESCOが主催する東アジア子ども芸術祭（8月2日～4日、中華人民共和国・瀋陽）に日本ユネスコ国内委員会からの要請を受けて、日本の子ども芸術団を派遣。東金ユネスコ協会の推薦で選出された「家之子獅子連郷土芸能保存会」が参加し、神楽を披露し交流を図った。

主催 UNESCO、中国ユネスコ国内委員会

アジア太平洋地域ユネスコクラブ振興セミナー

ユネスコ・パリ本部主催のアジア太平洋地域ユネスコクラブ振興セミナーが11月12日～14日までバンコクで開催され、15カ国から55名が参加した。民間ユネスコ運動60年の成果のもとに、UNESCOが実施している事業にユネスコクラブが理解を深め、クラブ活動の事例を参考に、ユネスコクラブ活動にUNESCO事業を連携させて、文化財保護、持続発展可能な開発のために教育(ESD)を地域で実践する方法について学ぶことを目的に開催された。

野口理事長がユネスコ本部の招きでゲスト・スピーカーとして参加し日ユ協連の60年の歴史と活動状況を基調講演として報告し、参加各国は取組事例報告、ユネスコ共同学校プロジェクトの説明を行った。

2. ユネスコ・世界寺子屋運動事業

世界寺子屋運動 支援活動

- ・カンボジア（第3次支援2年目）を重点国として支援し、新たにシェムリアップ州ブレサトバコン郡ロリュオスコミュニンコックスロック村、同州ポック郡クロベイリエルコミュニンプレイクロッチ村に寺子屋が完成した。2006年度に完成した同州シェムリアップ郡チョンクニアコミュニンの水上寺子屋では、識字教室のほか、伝統音楽教室、ホテアオイ民芸品製作教室などの支援を行ったほか、寺子屋が地元の人たちによって運営されるように3村の寺子屋運営委員会に対してさまざまな研修会を実施した。
- ・アフガニスタン（第3次支援）では、カブール県チャラシアブ及びパルワン県センジットダラに新規寺子屋を建設するとともに、バーミヤンでの寺子屋活動を開始した。
- ・ネパール（第2次支援の1年目後半、2年目前半）では、ティラウラコット村、ルンビニ・アダルシャ村に新規寺子屋を建設するとともに、様々な研修会を実施し、政府の教育省職員などに対する研修も実施した。
- ・インドでは、ゴカックの45村に開設された寺子屋の持続的な運営を目指し、3年間のフォローアップ事業を開始し、ネットワークの構築、公衆電話サービスなどの新しいプログラムの企画と実施を行った。
- ・ラオスでの新規事業開始に向け、現地調査を行い、10月にはビエンチャンのノンフォーマル教育開発センター内で初めての研修を実施。また11月には寺子屋運動の実施地となるルアン・パバン県のノンフォーマル教育センター内で研修会を、また1月には寺子屋のプログラム立案に関する研修会を開催するなど2008年度からの開始に向け準備を整えた。

世界寺子屋運動 募金・広報活動

- ・書きそんじハガキ回収キャンペーンに105ユネスコ協会が参加した。また、また紀伊国屋書店が、全国主要都市の店舗にある大型モニター「KINO ビジョン」で書きそんじハガキ回収のPR映像を12月29日から4週間放映した。
- ・支援を頂いている団体、企業、労働組合などへ寺子屋活動の報告会を実施した。
- ・「寺子屋レポート2007」（和文1万部・英文3千部）を発行した。
- ・世界の教育番組の向上のために1965年にNHKが設立した「日本賞」教育番組・国際コンクールで「日本ユネスコ協会連盟賞」として、バングラデシュ公開大学が作成した「ボートは僕らの学校だ：明日の希望」が受賞した。同賞は、識字・自国の言語教育を促し、基礎教育の普及に貢献する優れた番組企画に授与される。日本賞授与式は10月29日にNHK放送センター（東京渋谷区）にて開催された。

「ユネスコ運動D-Project『世界寺子屋運動』小・中・高学級のプログラム」

2007年度は全国で29の小・中・高等学校が参加し、コンピューター授業の中で「世界寺子屋運動」への理解を深め、各地ユネスコ協会と連携のもと、リーフレットを制作した。

参加校の近隣ユネスコ協会がゲストティーチャーとして、ユネスコ活動や世界寺子屋運動について授業を行い、児童・生徒は担当教諭の指導のもと、書きそんじハガキ回収を呼びかけるリーフレットを作成した。なお、優秀作品は次年度の書きそんじハガキキャンペーン用リーフレットとして採用される。アドビシステムズ(株)、(株)電通の協力を得ながら参加校教員向けのワークショップなども実施し、内容の充実を図った。

2007 年度書きそんじハガキキャンペーン用リーフレットに採用された優秀作品が全国の紀伊國屋書店で 2008 年 1 月に 20 万枚配布され、さらに同デザインのポスター 200 枚が店頭に掲示された。また、同時期に紀伊國屋書店の主要店舗にある大型モニターにて、世界寺子屋運動の CM が放映された。

その他のコーアクション (Co-Action) 活動

コーアクションは、発展途上諸国の貧困や飢餓、教育が受けられないなどさまざまな課題を、現地の人びとと日本の市民とが「共に協力して」解決しようとする運動。UNESCO が提唱し、当協会連盟は 1962 年から実施。2007 年度は「一杯のスプーン」と「被災地への緊急援助」の 2 事業を実施した。また、2007 包帯クラブ製作委員会より映画「包帯クラブ」撮影で使用した包帯予備の寄付を受け、アフガニスタン、ネパールの支援先へ贈った。

- ・「一杯のスプーン」：アフガニスタン、ネパールでの医薬品・食糧支援
- ・「被災地への緊急援助」：パキスタンでの地震被災地学校校舎建設支援

3. 世界遺産・地域遺産活動事業

世界遺産の広報・募金活動

「人類にとってかけがえのない文化や自然を守り、次世代に受け継いでいかなければならない」という世界遺産条約の理念、意義について周知を図った。世界遺産の最新情報などを盛りこんだ「世界遺産年報 2008 No.13」を（財）日本宝くじ協会の助成を得て発行し、国公立図書館、大学付属図書館、教育委員会等に寄附した。

国内の世界遺産および地域遺産とユネスコ協会活動

国内の世界遺産登録地にあるユネスコ協会が、地元の世界遺産の保護に協力するための情報収集や発信を行った。また、日本の有形・無形の地域遺産を保護し新たな運動の展開を探るために、各地ユネスコ協会へのアンケート調査や事業構築を試みた。

海外世界遺産の支援・協力活動

国外の世界遺産の保護・保全を目的とした活動を実施するとともに、日本との交流による相互理解の促進を図る。

・国際協力プロジェクト

A) 「バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」(アフガニスタン)

バーミヤン教育文化センターを中心に、地域住民に対する啓発活動を行った。

B) 「フィリピン・コルディリエーラの棚田群」(フィリピン)

イフガオ地方の若い世代に伝統的知識を伝承し、伝統を守る人材を養成した。

C) 「ルンピニ文化支援」(ネパール)

文化財保護に関する小冊子(ネパール語・英語)発行に対する支援を行った。

第10回絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展

世界遺産だけでなく自分たちの身近な自然や有形・無形の文化に目を向け、大切にすることを訴えるために、「第10回絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展をあいおい損保(株)の協力により全国74のユネスコ協会と共に開催した。74の地域で「わたしの町のたからもの」をテーマに小・中学生から絵画作品を募集し、地域展示と表彰式を行った。各地の優秀作品の中から全国優秀作品を選定し、全国表彰式(2008年3月27日)を東京で開催した。

4. 普及・広報活動事業

「民間ユネスコ運動 60 年史」発行と新・ロゴマークの制作・発表

民間ユネスコ運動の軌跡を記録・編集した上記年史を 4000 部発行し、会員に一部ずつ贈呈すると同時に関係者・団体にも送付した。また、60 周年を記念し、(株)電通の全面的協力により、(社)日本ユネスコ協会連盟独自のロゴマークを作成し、全国のコ協に V I マニュアルを送付すると同時に旗の贈呈を行った。

機関誌『ユネスコ』の発行と機関誌交換サービスの実施

- ・機関誌『ユネスコ』の表紙と裏表紙のカラー化を 2008 年 1 月号より実施した。
- ・各地ユネスコ協会発行の機関誌を事務局でとりまとめ、情報交流を促進させるため、交換を希望する各地ユネスコ協会に送付した。

ホームページ (<http://www.unesco.jp>) による情報発信

新たに世界寺子屋運動のページに「映像で見る寺子屋」サイトを設置するなど動画配信を含め、内容の充実を図った。

「ユネスコ情報マガジン」(毎月)の発行

上記ホームページとの連動を図りつつ、78 号～96 号を発行した。読者数は年度末で 6693 名に達した。

広報ツールの制作とパネル・ビデオの貸出し

当協会連盟の活動を紹介するパンフレットをはじめ、ポスター、パネル、ビデオ等を必要に応じて制作し活用した。

企業・団体との共催事業の実施・協力関係の構築

連盟の活動方針に鑑み、共催事業に相応しいと考えられる企業の社会貢献的事業などに協力し、更なる展開を図った。また、近年、C S R (企業の社会的責任)に積極的な企業の増加に応え、企業向けに民間ユネスコ運動の紹介とご協力方法を紹介したパンフレットを作成した。

修学旅行・訪問学習・教員研修等の受け入れ

2007 年度は、小学校・中学校・高校 24 校から計 220 名の受け入れを行った。

組織内の電子媒体による情報交流促進

日コ協連ロゴマークの V I については CD で希望コ協に送付した。また各事業においてもメーリングリストを作成し、情報交流の促進を図った。

(2) 特別会計事業

国際協力活動推進基金（グローバル21基金）の管理・運営・事業実施
寺子屋スタディツアーへの助成

世界寺子屋運動を通して、支援をする人びとと支援を受ける人びとが連帯する心を育み、共に学習し、相互理解を深めるために、12 ユネスコ協会が企画した寺子屋スタディツアーに助成した。

UNESCO 芸術賞基金の管理・運営

世界の若い芸術家を育成することを目的とした UNESCO 芸術賞（ビジュアル・アート部門、パフォーマンス・アート部門、ニューテクノロジー部門の3部門）に協力した。

〔収益会計事業〕

機関誌「ユネスコ」の発行

UNESCO、「平和の文化」実践活動、世界寺子屋運動、世界遺産活動、青少年活動などに関する情報を提供し、各地ユネスコ協会の活動を紹介した。また、民間ユネスコ運動 60 周年の年にあたり、民間ユネスコ運動の更なる活性化に結びつくような紙面構成を図った。2008 年 1 号より表紙と裏表紙をカラー化した。

発行形態 奇数月 1 日、年間 6 回発行

購読料 年間 800 円（消費税・送料込み）

形態 原則 A4 判、20 ページ

ユネスコ関係出版物、ポストカードなどの頒布(価格は 2008 年 3 月現在。消費税込。)

ユネスコバッジ

会員バッジ(中型)(タック) ¥700

子供バッジ(丸型)(ピン) ¥250

女性会員バッジ (ピン) ¥3,500

ユネスコの歌のテープ・CD(楽譜付) ¥1,260

ユネスコ旗 ユネスコ・マークと協会名入り

大(2.1m×1.4m) ¥36,000

中(1.8m×1.2m) ¥33,000

小(1.35m×0.9m) ¥24,000

旅行旗(0.9m×0.6m) ¥12,000

フォトフレーム(クリスタル製)

大 ¥5,250

小 ¥3,675

クリスタルトロフィー

大 ¥6,300

中 ¥4,200

小 ¥2,625

賞状用紙

¥315

図書「暴力の文化から平和の文化へ」(平和の文化をきづく会 編)

¥735

「脱暴力宣言」(平和の文化をきづく会 編)

¥735

「辺境の旅から」(金子民雄著)

¥2,100

「新しい開発教育のすすめ方」(開発教育推進セミナー編)

¥2,520

「ユネスコ 50 年の歩みと展望」(野口昇著)

¥2,300

「アジアのこころ」(絵・文 葉祥明)

¥1,680

「こどもの権利を買わないで」(絵 森野さかな・文 大久保真紀)

¥1,680

「平和の哲学」(俵木浩太郎著)

¥2,730

「ユネスコ事務局長奮闘記」(松浦晃一郎著)

¥1,890

「ユネスコ世界遺産年報 2007」

¥1,050

「ユネスコ 30 の質問」

¥500

世界遺産ポストカード

シリーズ 1 (8 枚セット) ¥1,200

シリーズ 2 (8 枚セット) ¥1,200

シリーズ 3 (8 枚セット) ¥1,200

シリーズ 4 (8 枚セット) ¥1,200

ポストカード

平山郁夫が描く日本の世界遺産(6 枚セット) ¥500

東山魁夷「四季の小曲」(10 枚セット) ¥700

アクリル募金箱

¥2,800

組 織

1. 理事 (21) (50音順)

会 長	松田 昌士 (東日本旅客鉄道(株)相談役)	非常勤	<維持>
副 会 長	平山 郁夫 (ユネスコ親善大使、(財)文化財保護・芸術研究 助成財団理事長)	非常勤	<会委>
	加藤 玲子 (NPO法人目黒ユネスコ協会会長)	非常勤	<会委>
理 事 長	野口 昇 (文京学院大学副学長・教授)	非常勤	<個人>
理 事	朝倉 紘治 (杉並ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	石井 清 (柏ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	今井琉璃男 (松山ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	岡宮 照行 (長野ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	北川 建次 (広島ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	佐藤 國雄 ((財)ユネスコ・アジア文化センター理事長)	非常勤	<会委>
	鈴木 幹夫 (日本放送協会元理事)	非常勤	<個人>
	関口 昭平 (函館ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	田川 清 ((医)幸医会理事長、名古屋ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	田中 弘允 (鹿児島ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	千葉 泉弘 (国際基督教大学COE客員教授)	非常勤	<個人>
	東嶋 未起 (盛岡ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	滑川 修 (三菱商事(株)社会・環境室長)	非常勤	<維持>
	西村 幸夫 (東京大学教授)	非常勤	<個人>
	松代 隆子 (株電通ポータル企画局CSR室長)	非常勤	<維持>
	森田 嘉一 (京都ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	米田 伸次 (帝塚山学院大学国際理解研究所顧問)	非常勤	<個人>

(注1) <構成> : 構成団体会員代表、<賛助> : 賛助団体会員代表、<個人> : 個人会員代表、
<維持> : 維持会員代表、<会委> : 会長委嘱

2. 監事 (3)

大瀧 太市 (朝日実業(株)元社長)	非常勤
志田 孝夫 (あいおい損害保険(株)常務役員)	非常勤
二瓶 和敏 (二瓶総合法律事務所、弁護士)	非常勤

3. 顧問 (13)

恩村 恭平	糟谷 勝一	児島 仁	曾我 貞子	堤 清二
中村 秀子	濱中昭一郎	平賀 孝	福原 義春	松浦晃一郎
村井 了	村田 昌志	E.H.Rose		

4. 評議員数

会員種別	2007年度末	定員
構成団体会員	90	90以内
賛助団体会員	6	10以内
		(但し会員総数：23の「3分の1以内」のため実数は7以内)
個人会員	40	40以内
維持会員	14	30以内
計	150	150以内

5. 会員数

会員種別	2006年度末	減	増	2007年度末
構成団体会員	275	4		271
賛助団体会員	21	1		20
個人会員	353	33	19	339
維持会員	228	19	10	219
計	877	57	29	849

休会会員を除く。

6. 会員の異動

構成団体会員

<退会>

西武ユネスコ協会

2007年5月12日第448回理事会承認

河口湖ユネスコ協会、ユネスコフォーラム大阪、在京北海道ユネスコ協会

2008年3月28日第454回理事会承認

維持会員

<入会>

株式会社グッドバンカー、株式会社コロンビアスポーツウェアジャパン

2007年5月12日第448回理事会承認

楽天株式会社、メッドサポートシステムズ株式会社

2007年6月2日第449回理事会承認

デザインワークス有限会社、久米繊維工業株式会社

2007年11月17日第452回理事会承認

株式会社ビーオーエス

2008年1月19日第453回理事会承認

株式会社バイリンガル・グループ、社団法人日本ジュエリー協会

JTBグループ労働組合連合会

2008年3月28日第454回理事会承認

維持会員

<退会>

株式会社オリエントコーポレーション、ジブラルタ生命保険株式会社
大日本印刷株式会社、株式会社ウエーブ 2 1、ソニー株式会社

2007年5月12日第448回理事会承認

朝日生命カードサービス株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、
株式会社損害保険ジャパン、エスエス製薬株式会社、

近畿日本ツーリスト虎ノ門公務執行事業部

2007年11月17日第452回理事会承認

コニカミノルタホールディングス株式会社、株式会社中央社、株式会社トライ
株式会社ソフトウェア技研、東急観光(株)新宿支店

2008年1月19日第453回理事会承認

三井物産株式会社、アドビシステムズ株式会社、丸善株式会社、名美興業株式会社

2008年3月28日第454回理事会承認

個人会員

<入会>

赤池 清、松島 由明、木村 良夫、横山 恭子

2007年5月12日第448回理事会承認

菅野 琴

2007年6月2日第449回理事会承認

湯木昭二郎、湯木 俊治、湯木 義夫、後藤 徹、海老根常子、佐藤 悦子

藤田 義仁、山田 雅子、丸山 泰世、森井 曠雄、山田ミヤ子、佐藤美智子

2007年11月17日第452回理事会承認

荒木 稔恵

2008年3月28日第454回理事会承認

松代 隆子

2008年3月28日第454回理事会承認

個人会員

<退会>

内村 宣明、梅本千代子、福原 匡彦、四ノ宮 浩、菅原喜重郎、今西 幸蔵

岡垣 保、五十川泰敬、中村 秀子、高田 浩二

2007年5月12日第448回理事会承認

瀬戸 敬吾、山領 健二、庄司比佐子、松本 伸夫、朝枝 信彦、浅見 明

高木 恭信、鱈崎 浩、猪木 武徳、広長 文子、周東 一也、越田 稜、辻村 聖子

榎田 勝利、小林 正樹、齋藤 篤、吉田 光孝、前田 常作

2007年11月17日第452回理事会承認

中里 良二、田中 正人、田中 健

2008年1月19日第453回理事会承認

小出 拓巳、宇野 章子

2008年3月28日第454回理事会承認

賛助団体会員

<退会>

社団法人国際演劇協会

2008年1月19日第453回理事会承認

7. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員(日本ユネスコ協会連盟関係) (12)(2008年3月31日現在)

北海道	立野 了子(室蘭ユネスコ協会会長)
東北	引地瑠美子(白石ユネスコ協会会長)
関東	大河内禮子(ひたちなかユネスコ協会副会長)
中部東	久保田泰正(磐田ユネスコ協会会長)
中部西	古田 暉彦(富山ユネスコ協会会長)
近畿	波田 一也(和歌山ユネスコ協会会長)
中国	北川 建次(広島ユネスコ協会会長)
四国	山本 滝子(徳島ユネスコ協会会長)
九州	仲筋 一夫(沖縄県ユネスコ協会会長)
全国的連合組織	栗原 小巻(女優、日本ユネスコ協会連盟 ^{パ・シャル・アドバ・イ} -)
全国的連合組織	西村 幸夫(日本ユネスコ協会連盟理事)
全国的連合組織	野口 昇(日本ユネスコ協会連盟理事長)

会 議

1. 総会

第58回通常総会

日 時	2007年6月2日(土) 14:30~16:30	
場 所	東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)	
議 長	会長 松田昌士	
出席者	構成団体会員	65名
	賛助団体会員	3名
	個人会員	49名
	維持会員	10名
	出席者計	127名
	委任状	368通
議 題	1. 議事録署名人の選任について 2. 評議員、監事、理事の選出について 3. 2006年度事業報告書(案)について 4. 2006年度収支決算報告書(案)について 5. 2007年度事業計画書(案)について 6. 2007年度収支予算書(案)について 7. 「民間ユネスコ運動 運動方針」(案)について 8. 「日本ユネスコ協会連盟のロゴマーク」について	

2. 評議員会

第12回評議員会

日 時	2007年5月12日(土) 13:15~15:30	
場 所	東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)	
議 長	会長 松田昌士	
出席者	構成団体会員	39名
	賛助団体会員	3名
	個人会員	20名
	維持会員	4名
	出席者計	66名
	委任状	57通
議 題	1. 前回議事要録の承認 2. 民間ユネスコ運動の運動方針(案)について 3. 2006年度事業報告書(案)・決算(案)について 4. 2007年度事業計画書(案)・予算(案)について	

第13回評議員会

日 時	2007年11月17日(土) 13:15~15:30	
場 所	東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)	
議 長	会長 松田昌士	
出席者	構成団体会員	44名
	賛助団体会員	3名
	個人会員	18名
	維持会員	2名
	出席者計	67名
	委任状	57通
議 題	1. 前回議事要録の承認	
	2. 2007年11月までの事業報告及び今後の主要事業について	
	3. 2008年「第64回日本ユネスコ運動全国大会in東京」について	
	4. 2007年度-2008年度理事会・評議員会・総会開催日程	

第14回評議員会

日 時	2008年1月19日(土) 13:15~15:30	
場 所	東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)	
議 長	会長 松田昌士	
出席者	構成団体会員	44名
	賛助団体会員	3名
	個人会員	24名
	維持会員	3名
	出席者計	74名
	委任状	51通
議 題	1. 前回議事要録の承認	
	2. 2008年度事業計画骨子(案)について	

3. 理事会

第448回理事会

日 時	2007年5月12日(土) 13:45~15:00	
場 所	東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)	
出席者	17名	
委任状	2通	
議 題	. 前回議事要録の承認	
	. 協議事項	
	1. 会員の入退会について	
	2. 民間ユネスコ運動の運動方針(案)について	
	3. 2006年度事業報告書(案)・決算(案)について	

- 4.2007 年度事業計画書(案)・予算(案)について
- ・報告事項
- 1.後援・共催事業について

第449回理事会

- 日 時 2007年6月2日(金) 13:15~14:00
- 場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
- 出席者 15名
- 委任状 5通
- 議 題
 - ・ 前回議事要録の承認
 - ・ 協議事項
 - 1. 会員の入退会について
 - 2. 2006 年度事業報告書(案)報告書(案)について
 - 3. 2007 年度事業計画書(案)予算書(案)について
 - 4. 2007・2008 年度「役員、評議員 選考委員会」について
 - 5. 「民間ユネスコ運動 運動方針」(案)について
 - 6. 「日本ユネスコ協会連盟のロゴマーク」について
 - 7. 会員提出議案について
 - ・ 報告事項
 - 1.後援・共催事業について

第 450 回理事会

- 日 時 2007年6月2日(金) 16:45~17:15
- 場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
- 出席者 17名
- 議 題
 - ・ 協議事項
 - 1. 議事録署名人の選任について
 - 2. 会長の互選について
 - 3. 会長委嘱理事の選任について
 - 4. 副会長、理事長の互選について

第451回理事会(持ち回り)

- 日 時 2007年7月31日(金)
- 議 題
 - ・ 前々回、前回議事要録の承認
 - ・ 協議事項
 - 1. ユネスコ運動推進員研修申込者選考について
 - ・ 報告事項
 - 1. 世界連盟世界大会参加報告
 - 2. 「民間ユネスコ運動の日」取組申込み団体一覧
 - 3. 「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」実施報告

理事・監事懇談会

日 時 2007年8月11日(土) 15:00~17:00
場 所 東京都・ホテル メトロポリタン エドモント(千鳥)
出席者 17名
内 容 .主要事業報告
.今後の主要事業
.新規事業等

第452回理事会

日 時 2007年11月17日(土) 15:45~17:00
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
出席者 13名
委任状 6通
議 題 . 前回議事要録の承認

II. 協議事項

1. 会員の入退会について
 2. 2008年度主要事業日程(案)について
 3. 2009年「第65回日本ユネスコ運動全国大会」(案)について
 4. 「日ユ協連事業を円滑に進めるための検討会等」(案)について
 5. 嘱託規程の改正(案)について
- . 報告事項
1. 切手、書きそんじハガキに対する法人税法上の取扱いについて
 2. 2007年11月までの事業報告及び今後の主要事業について
 3. 後援・共催事業について
 4. 「新公益法人会計基準について」及び「2007年度上半期収支概況報告」

第453回理事会

日 時 2008年1月19日(土) 15:45~17:00
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
出席者 15名
委任状 4通
議 題 . 前回議事要録の承認

. 協議事項

1. 会員の入退会について
 2. 2008年度事業計画骨子(案)について
 3. 各種検討会等について
- . 報告事項
1. 後援・共催事業について
 2. 2007年度第3四半期決算
 3. 切手の換金に対する課税について
 4. 「日本ユネスコ協会連盟」活動支援のためのチャリティ歌舞伎開催について

第454回理事会

- 日時 2008年3月28日(金) 15:00～17:30
場所 東京都・ホテルメトロポリタン エドモント(千鳥)
出席者 15名
委任状 4通
議題
- ・ 前回議事要録の承認
 - ・ 協議事項
 1. 会員の入退会について
 2. 2008年度事業計画(案)及び2008年度予算(案)について
 3. 各種検討会等について
 4. 持続発展教育(ESD)の普及促進のためのユネスコ・スクール活用について提言(日本ユネスコ国内委員会)
 - ・ 報告事項
 1. 後援・共催事業について

4. 専門委員会 (役職は就任当時。委員は五十音順)

組織・活動専門委員会

- 委嘱事項
1. 全国的組織運動展開、日ユ協連事業構築への助言
(民間ユネスコ運動60周年へ向けて、時代に応じた運動のあり方についての提言)
 2. 組織対策・整備に関する助言
会員入退会等の審議(小委員会設置)
日ユ協連組織・運営のガイドライン等の検討
- 委員長 加藤 玲子(日ユ協連副会長、目黒ユネスコ協会会長)
委員 城戸 一夫(日ユ協連評議員)
興梠 寛(世田谷ボランティア協会理事長)
田中 弘允(日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長)
二瓶 和敏(日ユ協連監事、弁護士)
林 美紀子(日ユ協連評議員、杉並ユネスコ協会理事)
本間 正人(日ユ協連評議員、(有)ラーノロジー代表)
的場 道子(日ユ協連理事、伊丹ユネスコ協会会長)
- 開催期日 下記日程で委員会を開催した。
(1) 2007年5月12日

5. 各種検討会等 (役職は就任当時。委員は五十音順)

組織活動検討会

- 委嘱事項 組織運営のあり方、及び会員資格の基準、会員の入退会などの審議
- 委員長 加藤 玲子(日ユ協連副会長、目黒ユネスコ協会会長)
委員 朝倉 紘治(日ユ協連理事、杉並ユネスコ協会会長)
石井 清(日ユ協連理事、柏ユネスコ協会会長)
田中 弘允(日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長)

二瓶 和敏（日ユ協連監事、二瓶総合法律事務所 弁護士）
的場 道子（日ユ協連評議員、伊丹ユネスコ協会会長）

開催期日 下記日程で検討会を開催した。

- (1) 2008年1月19日
- (2) 2008年3月19日

「地域草の根助成振興助成金」審査会

委嘱事項 「地域草の根助成振興助成金」の申請事業について、申請書類をもとに助成交付の可否及び助成交付金額の決定

委員 田中 弘允（日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長）
平井 花画（日ユ協連理事、岐阜県ユネスコ協会会長）
的場 道子（日ユ協連理事、伊丹ユネスコ協会会長）

開催期日 下記日程で審査会を開催した。

- (1) 2007年5月13日

委員 石井 清（日ユ協連理事、柏ユネスコ協会会長）
田中 弘允（日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長）
米田 伸次（日ユ協連理事、帝塚山学院大学国際理解研究所顧問）

開催期日 下記日程で審査会を開催した。

- (1) 2007年10月25日

「地域草の根活動振興助成金」事例集編集委員会

委嘱事項 「地域草の根活動振興助成金」による活動事例集を編纂

委員 興梠 寛（世田谷ボランティア協会理事長）
田中 弘允（日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長）
的場 道子（日ユ協連評議員、伊丹ユネスコ協会会長）
米田 伸次（日ユ協連理事、帝塚山学院大学国際理解研究所顧問）

開催期日 下記日程で委員会を開催した。

- (1) 2008年1月20日
- (2) 2008年2月17日
- (3) 2008年3月28日